

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公表番号】特表2003-526667(P2003-526667A)

【公表日】平成15年9月9日(2003.9.9)

【出願番号】特願2001-566662(P2001-566662)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/55 (2006.01)

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 K 31/36 (2006.01)

A 6 1 K 31/473 (2006.01)

A 6 1 K 31/4745 (2006.01)

A 6 1 K 31/475 (2006.01)

A 6 1 K 31/7042 (2006.01)

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/55

A 6 1 K 31/352

A 6 1 K 31/36

A 6 1 K 31/473

A 6 1 K 31/4745

A 6 1 K 31/475

A 6 1 K 31/7042

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月11日(2008.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 腫瘍の増殖を減少または抑制するのに使用するための医薬の製造における、セファロタキシンおよび抗増殖性剤の使用。

【請求項 2】 セファロタキシンはホモハリングトニンを含む、請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】 セファロタキシンはホモハリングトニンアナログを含む、請求項 1 記載の使用。

【請求項 4】 抗増殖性剤は核酸と相互作用する剤を含む、請求項 1 記載の使用。

【請求項 5】 抗増殖性剤は、アルキル化剤、インターカレート剤、金属配位錯体、ピリミジンヌクレオシド、プリンヌクレオシド、核酸関連酵素のインヒビター、または核酸関連タンパク質のインヒビターを含む、請求項 1 記載の使用。

【請求項 6】 抗増殖性剤は、シスプラチン、シタラビン、カンプトテシン、ビンブラスチン、エトポシド、5 - フルオロウラシル、アモナフィド、コルチシン、またはゲニステインを含む、請求項 1 記載の使用。

【請求項 7】 医薬はセファロタキシン薬物および抗増殖性薬物を含み、該セファロタキシン薬物は抗増殖性薬物の投与前に投与する、請求項 1 記載の使用。

【請求項 8】 医薬はセファロタキシン薬物および抗増殖性薬物を含み、該セファロタキシン薬物は抗増殖性薬物の投与の間に投与する、請求項 1 記載の使用。

【請求項 9】 医薬はセファロタキシン薬物および抗増殖性薬物を含み、該セファロタキシン薬物は抗増殖性薬物の投与後に投与する、請求項 1 記載の使用。

【請求項 10】 該医薬を用いた該固形腫瘍についてのモジュレートは、該抗増殖性剤を単独で用いた場合よりも大きい、請求項 1 記載の使用。

【請求項 11】 セファロタキシンおよび抗増殖性剤を含有する医薬組成物。

【請求項 12】 該セファロタキシンはホモハリングトニンまたはホモハリングトニンアナログを含む、請求項 11 記載の医薬組成物。

【請求項 13】 抗増殖性剤は、シスプラチン、シタラビン、カンプトテシン、ビンブラスチン、エトポシド、5 - フルオロウラシル、アモナフィド、コルチシン、またはゲニステインを含む、請求項 11 または 12 記載の医薬組成物。

【請求項 14】 セファロタキシン薬物および別々の抗増殖性薬物を含有する、医薬。

【請求項 15】 該セファロタキシンはホモハリングトニンまたはホモハリングトニンアナログを含む、請求項 14 記載の医薬。

【請求項 16】 該固形腫瘍の増殖の減少または抑制は腫瘍の大きさが 4 倍になる時間の増加を含む、請求項 1 記載の使用。

【請求項 17】 増殖の減少または抑制は化学増強効果を含む、請求項 1 記載の使用。